



栃木県立栃木女子高等学校

120
栃木県立栃木女子高等学校
創立120周年
2021

全
日
制



所在地 〒328-0074 栃木市菌部町1-2-5
電話 0282-23-0220
FAX 0282-25-2728
URL <http://www.tochigi-edu.ed.jp/tochigijoshi/nc2/>
創立 明治34年
課程 全日制課程
設置学科 普通科
生徒数 713名(女子713名)(令和3年5月1日現在)
利用交通機関 栃木駅から徒歩約15分

I 学校の概要

本校は明治34年に創立されて、今年で創立120年という県内有数の伝統校です。生徒は日々勉強に励み、卒業時にはほぼ全員が大学に進学する進学校です。また、文武両道を目指して多くの生徒が部活動に参加し、優れた成果をあげ、充実した高校生活を送っています。卒業生は現在に至るまで約3万6千名におよび、国内外の各分野で活躍しています。



ユリノキの花
(本校のシンボルツリー「ユリノキ」)

1 学校教育目標

○毅然として心優しい女性を育成します。

2 目指す学校像

- 心身ともに健全な女性を育成する学校
- 豊かな情操と鋭敏な道德心を備えた女性を育成する学校
- 高い知性と広い教養を身につけた女性を育成する学校
- 自主自律の精神に富んだ女性を育成する学校
- 国家・社会に対する正しい理解と愛情を持ち、進んで人類社会に貢献することのできる女性を育成する学校

3 募集する生徒像

本校の教育目標・目指す学校像を理解し、本校を強く志望する生徒で、次の(1)(2)の両方に該当する生徒

- (1) 学習に前向きで、高い志をもち、自己を向上させる努力を継続できる生徒
- (2) 部活動や特別活動・校外活動に意欲的に参加し、リーダーシップを発揮できる生徒

4 沿革

明治	34年	下都賀郡立栃木高等女学校として創立
昭和	26年	栃木県立栃木女子高等学校と改称
平成	13年	創立100周年記念式典
令和	2年	本館内外改修工事完成
令和	3年	創立120周年記念式典

5 学校の特徴

本校生の出身中学校は多彩で近隣地域だけでなく県内外の約100校近くにのびります。校歌の一節「相寄りてここにきそふ」の通り、志高い女子が集い、互いに切磋琢磨しながら自己の目標に向かって、ひたむきに努力するという素晴らしい校風が代々受け継がれています。



伝統の制服
(セーラー冬服・夏服)

Ⅱ 進路状況

1 過去3か年の進路状況

	国立大	公立大	私立大	私立短大	専修・各種	進学者数	卒業生数
令和2年度卒	47	22	146	3	9	227	234
令和元年度卒	54	17	151	1	4	227	233
平成30年度卒	56	24	153	1	3	237	243

2 過去3か年の主な大学の合格人数

国公立大学合格者数（現役＋既卒）（ ）は既卒

	R2卒	R1卒	H30卒
北海道大			1
東北大		3	1
秋田大	3	1	
福島大	5	3	5
茨城大	5	6	5
筑波大	1	4	2
宇都宮大	13	11	10
群馬大	6	6	10(1)
埼玉大	3	3(1)	6
千葉大	3	2	1
お茶の水女子大	1	1	1
東京医科歯科大			1
東京外国語大			2(1)
東京学芸大	1	1(1)	3
東京藝術大	1(1)		
東京工業大			1
横浜国立大		1	
新潟大	2	3	8
富山大	2	2	1
金沢大	1		
信州大	3		1
神戸大		1	
国際教養大		1	
埼玉県立大	8	2	8
東京都立大	3	1	3
横浜市立大	4	1	
京都府立大			1
大阪市立大	1		1
神戸市外国語大			1
国公立大計	90(2)	77(2)	95(4)

私立大学合格者数（現役のみ）

	R2卒	R1卒	H30卒
国際医療福祉大	19	21	25
自治医科大	6	3	11
獨協医科大	12	9	15
白鷗大	29	32	41
獨協大	14	5	9
文教大	21	21	28
青山学院大	6	5	6
学習院大	4	6	1
慶應義塾大		1	1
駒澤大	7	5	7
上智大	1	2	4
昭和女子大	5	17	11
専修大	8	3	7
中央大	13	16	24
津田塾大	9	3	10
東京女子大	9	8	9
東京農業大	2	5	14
東京理科大	2	4	6
東洋大	22	31	24
日本大	7	9	10
日本女子大	4	5	6
法政大	9	13	5
明治大	5	15	10
明治学院大	6	2	6
立教大	11	9	8
早稲田大	3	4	4
同志社大	1	1	1
立命館大		2	
関西学院大	1		1
私立大計	417	457	472

本校生は医学部医学科に進学する生徒が継続しています。昨年度は秋田大学1名、獨協医科大学4名、聖マリアンナ医科大学1名がそれぞれの医学部医学科に進学しました。また昨年度は新潟大学歯学部歯学科や千葉大学薬学部などに進学し、難関と言われる医歯薬系の大学合格実績があります。

Ⅲ 3年間の学習

本校は生徒の進路希望に応じた教育課程とクラス編成により、それぞれの特色を生かせるようなカリキュラムを用意しています。本校の学習内容は中学校と比べ高度で難解になりますが、生徒の知的好奇心を刺激し、育て高めるものになっています。高校の難しい学習内容に弱音を吐くときがあるかもしれませんが、長い苦勞の先に問題が解けたときの達成感や考え抜いて新たな発見に到達したときの喜びや充実感といった体験は、次の学びへの原動力となるばかりでなく、自身を大きく成長させ、今後の人生の糧となるはずです。

本校の授業は1コマ45分の1日7時間授業です。また、生徒の更なる学習向上と大学入試対策を目的とした課外授業も提供しています。生徒は予習・復習を習慣化し、自学自習の主体的な学びと仲間や友と話し合い教え合う対話的な学びの両方を身につけて、深い学びの実現を目指しています。早朝から図書室で自習をしている生徒、あるいは放課後に最終下校時刻まで自習室で勉強に励んでいる生徒を多く見受けられます。また、進路学習行事として、1年生では東京都をはじめ現地に出向いて大学や職場を肌で感じる「大学・企業研修」、2年生では様々な大学から多くの教授が来校し、学問の魅力を伝えてくれる「出張講義」などキャリア教育にも力を入れています。



授業風景（数学）



図書館の自習風景

【令和3年度入学生の教育課程】

	国語	地歴公民	数学	理科	保体	芸術	英語	家庭	情報	HR	総探
1年	5	2	6	4	4	2	6	2	2	1	1
2年	文型	6	8	5	4	3	1	6		1	1
	理型	6	5	6	7	3		6		1	1
3年	私文型	9	8			3	2	9	2	1	1
	国文型	6	8	6	4	2		7		1	1
	私理型	3		9	10	2		9		1	1
	国理型	5	3	7	9	2		7		1	1

Ⅳ 特別活動

1 主な学校行事

- 【1学期】新入生歓迎遠足、生徒総会、校内スポーツ大会、芸術鑑賞会、校内合唱コンクール
- 【2学期】学校祭（栃女祭）、修学旅行（2年生）、ゆりの木文化講演会、太平山耐久レース
- 【3学期】芸術発表会



新入生歓迎遠足



校内スポーツ大会



校内合唱コンクール



学校祭（栃女祭）



太平山耐久レース



芸術発表会

2 部活動

【運動部】 バレーボール、バスケットボール、ダンス、ソフトテニス、ハンドボール、卓球、陸上競技、山岳、剣道、テニス、ソフトボール、サッカー

【文化部】 文芸、演劇、英語、新聞、放送、J R C、書道、美術、ギター・マンドリン、コーラス、オーケストラ、茶道、華道、クッキング、手芸、化学、地球、軽音楽

・山岳部、ハンドボール部、陸上競技部、化学部、美術部、放送部、オーケストラ部は過去3か年の全国大会（インターハイ、全国総文祭等）や関東大会への出場実績があります。



ハンドボール部



山岳部



美術部



書道部

V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 20%程度

2 出願するための資格要件

中学校における各学年各教科の成績が優秀で、人物的にも優れており、入学後も他の生徒の模範となり、次の（１）から（３）までのいずれかに該当する者

（１）国語・社会・数学・理科・英語の成績がいずれも極めて優秀な者

（２）中学校在学中、文化活動やスポーツ活動などに積極的かつ継続的に取り組み、優れた実績や資質・能力を有し、本校入学後も文化活動やスポーツ活動などに積極的に取り組む意志のある者

（３）特別活動や校外活動において、特に本校の活性化につながる顕著な実績がある者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間10分程度
小 論 文	時間50分 字数600字程度

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。

2 調査書は、

①第1学年から第3学年までの「各教科の学習の記録」の評定（選択教科を除く）を合計（135点満点）し、段階評価を行う。

②第1学年から第3学年までの国語、社会、数学、理科、英語の「学習の記録」の評定を合計（75点満点）し、段階評価を行う。

3 調査書の点数化されない部分及び面接の結果から、資格要件（２）（３）に該当する実績について段階評価を行う。

4 面接及び小論文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2①の評価が優秀であり、かつ、2②、3、4の評価のいずれかが極めて優秀である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。